

【カンボジア自然災害リスク<シリーズ 3>】

カンボジアの台風リスクについて

インターリスクアジアタイランド

シリーズ 3 回目はカンボジアの台風リスクについてご紹介します。日本と比較し、カンボジアの台風リスクは低いと言えます。

1. 台風ハザードの概要

“Strategic National Action Plan for Disaster Risk Reduction 2008～2013”によれば、カンボジアは周囲の山に防護されるため、台風による深刻な被害は頻繁には発生しないとされています。

ただし、台風に起因する大雨によって洪水がより深刻化するケースがあります。特にメコン川の水位が高くなっている9月、10月に台風による大雨が重なった場合、深刻な被害が発生する可能性があります。

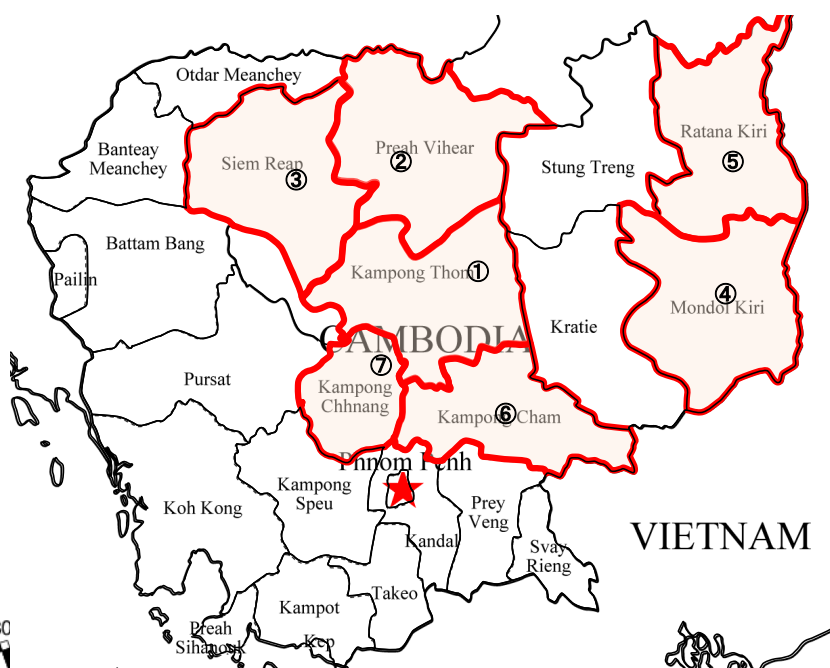
2. 過去の台風被害

2-1Typhoon Ketsana (2009)

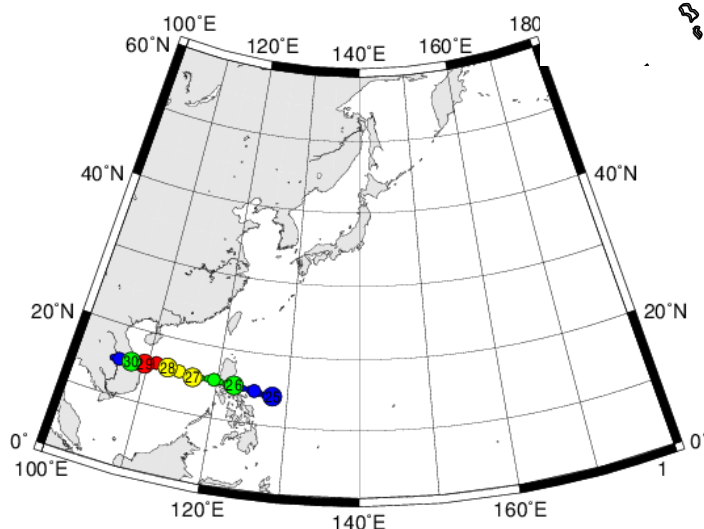
2009年9月25日に太平洋フィリピン沖で発生した Typhoon Katsana は北西方向に進路を取り、フィリピン、南シナ海、ベトナムを通過して9月29日の昼、カンボジア東部に上陸しました。

台風の影響による大雨で洪水が発生し、下記の地域を中心に、死者20名、全壊家屋870棟の大きな被害が発生しました。

被害が発生した地域は以下のとおりです。①コンボントム州(Kampong Thom)、②プレアヴィヒア州(Preah Vihear)、③シエムリアップ州(Siem Reap)、④モンドルキリ州(Mondul Kiri)、⑤ラタンキリ州(Rattanakiri)、⑥コンポンチャム州(Kampong Cham)、⑦コンポンチュナン州(Kampong Chhnang)



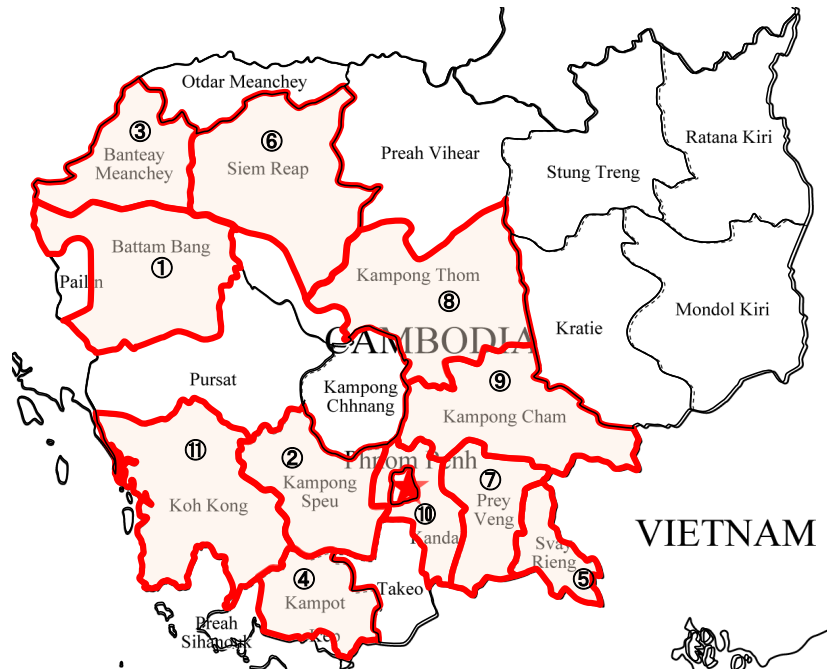
【図1】被害が発生した主な州(出典:)



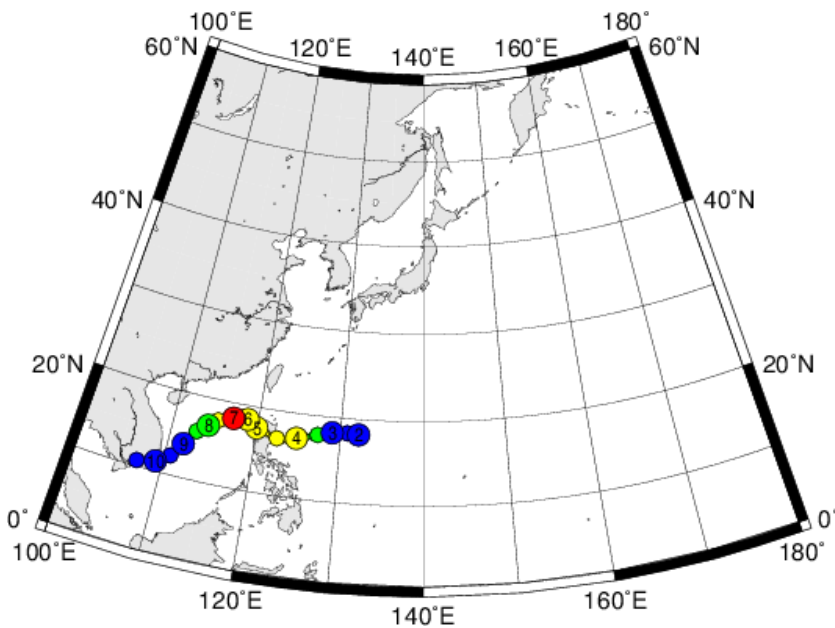
【図2】Typhoon Ketsana 経路 (出典:デジタル台風)

2-2 Typhoon Peipah (2007)

2007年11月2日にフィリピン沖で発生した Typhoon Peipah は西に進路を取り、フィリピン、南シナ海、ベトナムを通過して11月10日、カンボジア東部に上陸しました。台風の影響による暴風と大雨により、下記の地域を中心に、全壊家屋 584 棟の被害が発生しました。被害が発生した地域は以下のとおりです。①バットアンバン州 (Battambang)、②コンポンスプー州 (Kampong Speu)、③バンテイメンチェイ州 (Banteay Meanchey)、④カンポット州 (Kampot)、⑤スヴァイリエン州 (Svay Rieng)、⑥シエムリアップ州 (Siem Reap)、⑦プレイヴェン州 (Prey Veng)、⑧コンポントム州 (Kampong Thom)、⑨コンポンチャム州 (Kampong Cham)、⑩カンダール州 (Kandal)、⑪ココン州 (Koh Kong)



【図3】被害が発生した主な州 (出典: インターリスク作成)



【図4】Typhoon Peipah 経路 (出典: デジタル台風)

2-3 その他の主な台風被害

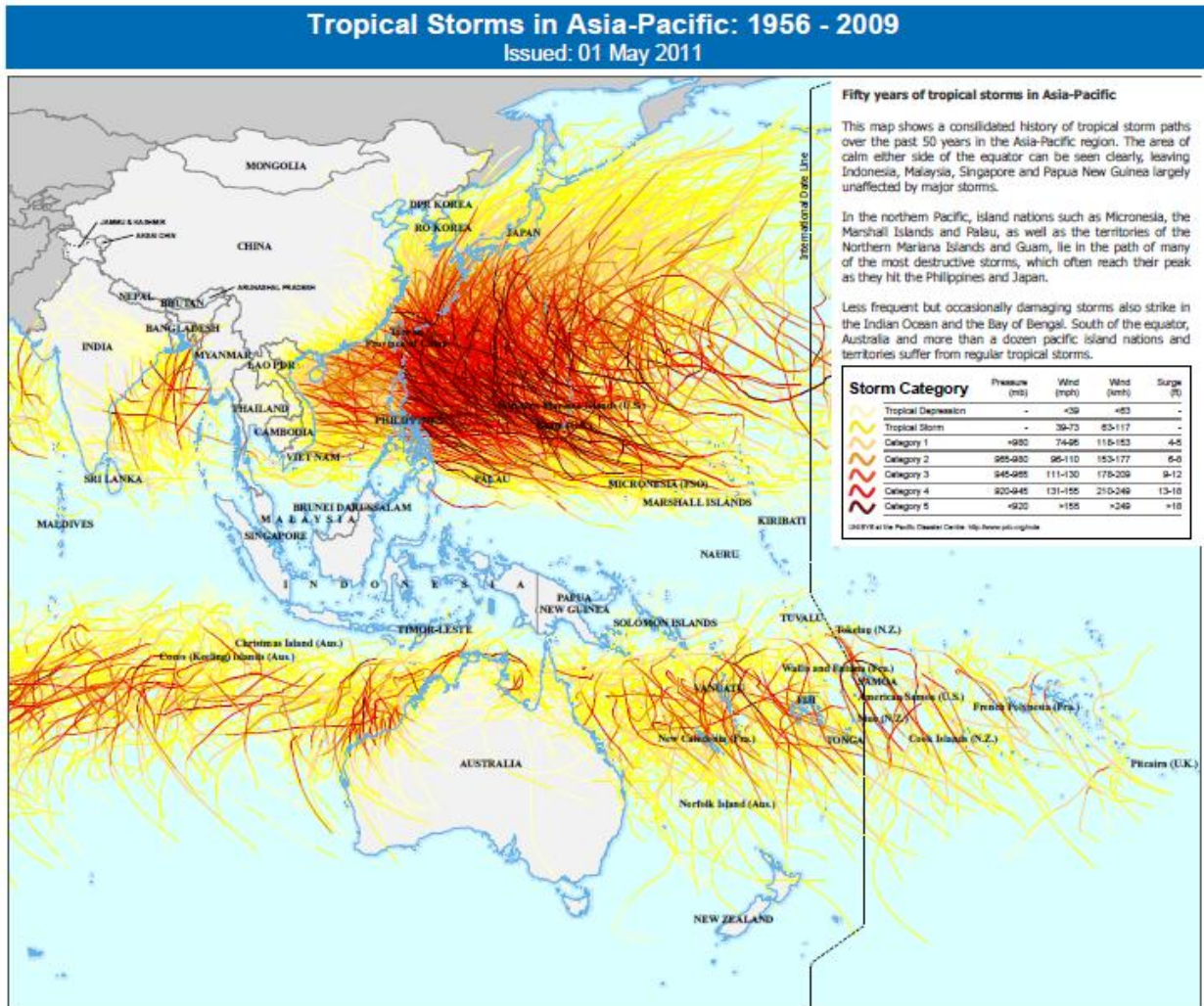
1999年にカンダール州・プノンペン市にて家屋の全壊約 500 棟、2001年には6つの学校と1つの寺院を含む家屋の全壊 743 棟の被害が発生しています。

3. 台風の上陸頻度

過去 50 年間(1956 年～2009 年)の台風の経路図を下図に示します。当該期間において台風がカンボジアに上陸したのは 12 回です。

同期間において日本に台風が上陸したのは 153 回であり、単純に比較するとカンボジアに上陸する台風の数は日本の 1/10 以下であることが分かります。

日本の台風被害の規模・頻度と比較すれば、カンボジアの台風リスクは低いものと言えます。



【図 5】台風の経路(出典: UN OCHA)

4. 台風ハザード

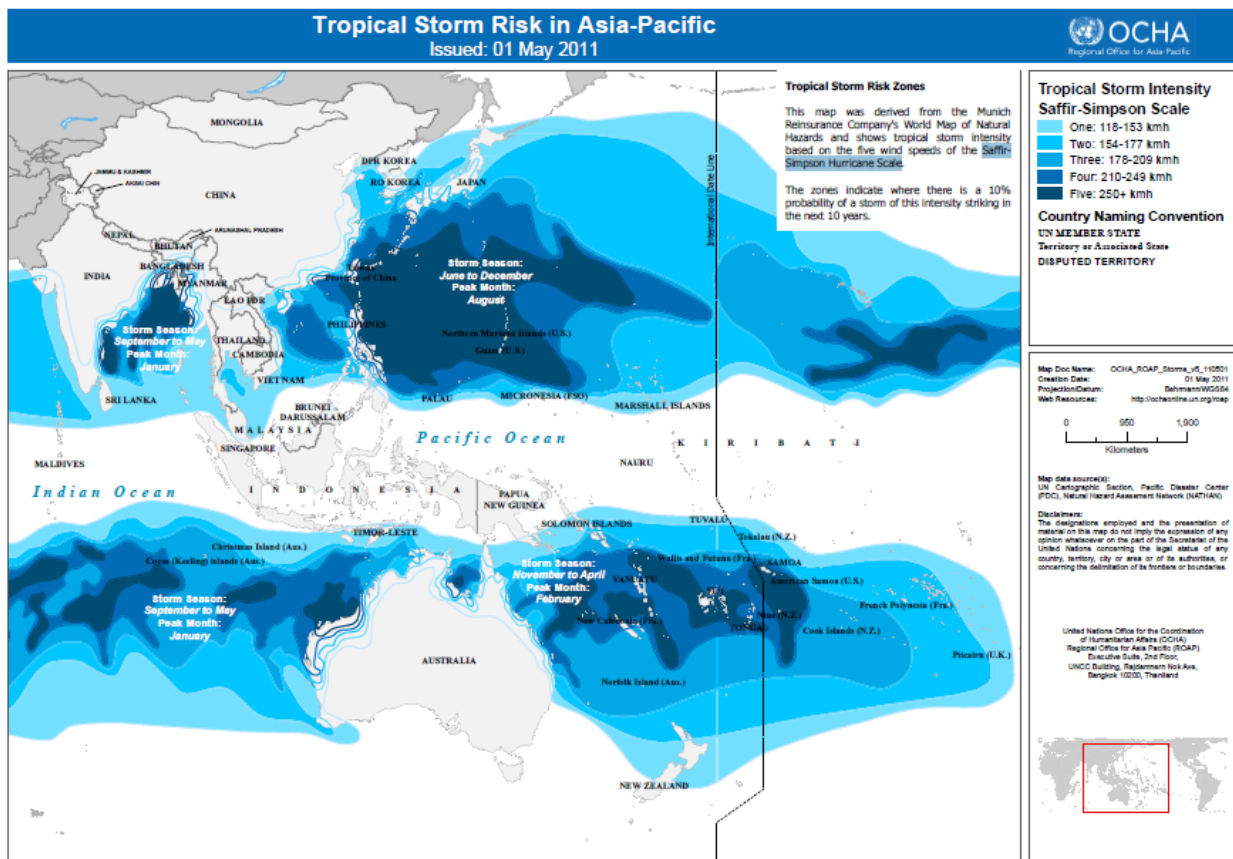
OCHA の台風のハザードマップを下図に示します。

同ハザードマップは Munich Reinsurance のハザード評価ツールが採用されており、今後 10 年間に 10%の確率で想定される風速を、Saffir-Simpson Hurricane Scale によって 5 段階で表しています。

- ・カテゴリー1: 118-153 km/h
- ・カテゴリー2: 154-177 km/h
- ・カテゴリー3: 178-209 km/h
- ・カテゴリー4: 210-249 km/h
- ・カテゴリー5: 250+ km/h

カンボジアは南端部分のみが最も風速の弱いカテゴリー(カテゴリー1)に分類され、それ以外の、国土の大部分は、風速 118km/h を下回る想定となっています。

日本で想定されている風速は国土全体がカテゴリー1 およびカテゴリー2 であり、日本と比較するとカンボジアの台風ハザードは低いと言えます。



【図 6】 台風ハザードマップ(出典:UN OCHA) OCHA

5. 次回予告

次回は、カンボジアの地震リスクについてご報告いたします。ご期待ください。

以上

Reference:

UN OCHA: United Nation Office for Coordination of Humanitarian Affairs
Relief Web, OCHA
デジタル台風
Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
Strategic National Action Plan for Disaster Risk Reduction 2008~2013
ADPC (Asian Disaster Preparedness Center)
Livre Blanc Master Plan 2007, Bureau des Affaires Urbaines
Google Map

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 ㈱インターリスク総研 総合企画部 国際業務チーム
TEL.03-5296-8920 <http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower 9th Floor, South Sathorn Road,
Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
Direct: +66-(0)-2679-5276
Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、カンボジア国の現地調査、研究機関より公開されている情報等に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

Copyright InterRisk Asia Thailand 2015